

富山大学極東地域研究センターシンポジウム
後援：富山県

ロシアの森は今

—その自然の成り立ちと環境保全—



基調講演「親潮・オホーツク海の魚附林としての
アムール川流域 —その仕組みと保全—」
講師：白岩孝行（北海道大学低温科学研究所）

研究報告「フィンランドに学ぶロシア林業との
つきあい方」
講師：堀江典生（富山大学極東地域研究センター）

研究報告「東シベリアの原野森林火災」
講師：串田圭司（富山大学極東地域研究センター）

場所：富山国際会議場 特別会議室（2階）
日時：平成24年12月20日（木）14:30～17:00

平成24年度環日本海学術ネットワーク特定テーマ支援事業

富山大学極東地域研究センターシンポジウム

ロシアの森は今 ―その自然の成り立ちと環境保全―

後援：富山県

森林は陸地面積の約31%を占めており、そのうちの約20%はロシアに存在しています。そして、ロシア森林総面積の約3分の1は極東地域にあります。森林は、私たちに生活の基盤となる様々な恵みを与えてくれ、地域や地球の環境形成に果たす役割は計り知れないものがあります。一方、私たちの経済活動や気候変動等の影響により、伐採や森林火災によって林木が減少している現実があります。地球環境にも大きな影響を与え得るロシアの森林は、今どのような状況にあるのでしょうか？本シンポジウムでは、ロシアの森林の環境形成作用（特に魚附林としての機能）、林業を通じて見たロシアの森林、そしてロシアの原野森林火災について、三名の講師のお話を伺い、ロシアの森林の重要性について理解を深め、その保全のあり方を考える機会にしたいと思います。参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成24年12月20日（木）14:30～17:00

場所：富山国際会議場特別会議室（富山市大手町1-2）

プログラム

- 14:30 - 14:35 今村弘子・富山大学極東地域研究センター長・挨拶
- 14:35 - 15:35 白岩孝行・北海道大学低温科学研究所・准教授
基調講演『親潮・オホーツク海の魚附林としてのアムール川流域 -その仕組みと保全-』
- 15:35 - 15:45 休憩
- 15:45 - 16:15 堀江典生・富山大学極東地域研究センター・教授
研究報告『フィンランドに学ぶロシア林業とのつきあい方』
- 16:15 - 16:45 串田圭司・富山大学極東地域研究センター・准教授
研究報告『東シベリアの原野森林火災』
- 16:45 - 17:00 質疑応答と総括

問合せ・お申し込み：富山大学極東地域研究センター

電話：076 (445) 6510 ファックス：076 (445) 6520

メール：kyokuto@eco.u-toyama.ac.jp

お名前	連絡先